

# MEMO & VOICE

CLUB FAME

## スポーツ 開幕秒読み すでに人気絶頂Jリーグ

5月15日、いよいよJリーグ開幕とあつてますますの熱気に包まれるサッカー界。3月下旬から、プレ・シーズン・マッチ（プロ野球というオープン戦）もスタートし、その人気は今や破竹の勢い。各百貨店をはじめ、続々オープンしたJリーグのグッズショップはどれも完売状態という熱狂ぶりだ。

知っての通り現在、Jリーグは全部で10チームだが、開幕となれば当然気になるのがリーグの首位争い。ごく個人的な見解から予想するならば、優勝候補No.1は、カズに北澤、ラモス、武田と日本代表がズラリと揃うスター軍団、ヴェルディ川崎をおいて他はなしといった感じか。追って、サッカー王国静岡の地元選手が中心のエスパルス。カズの実兄、三浦泰年も所属し、兄弟対決も見モノのひとつといえる。天皇杯でV2を記録する横浜マリノスも堅い。しかし、関西在住のフェイム読者なら、やはり、釜本監督率いる関西唯一、「ガンバ大阪」にも声援を送りたいところ。日本代表選手こそはいないが、ガンバの人氣があがれば、東のヴェルディ、西のガンバ、てな具合で、プロ野球でいうなら阪神V.S.巨人という好カードになり得る可能性もある。ノリのいい関西人をうまくのせることができるかが、これまたサッカー人氣を盛り上げるカギといえるのではないだろうか。また、勝負の世界にドローがあるのはおかしいと、引き分け無しのサドンデスシステムも採用されるとのこと。こちらも見応えあり。とはいえず、サッカー界の最終目標はやはり世界。

## メディア 「金曜日」に創刊 一切のタブーを排した週刊誌

去る2月の日本代表のイタリア遠征では完敗を喫し、世界の壁の厚さを思い知ったわけだが、開幕前から選手の個人的な話題ばかりが取りざたされ、肝心のサッカーの話題は二の次。人氣が先行していた感があつただけに、この敗北で考えさせられるものは多かつたはず。今やプロ野球を凌ぐ人氣のJリーグ。ここでひとつ、その本領たるものを十分にみせつけて欲しいものだ。

各テレビ局の相次ぐ「やらせ番組」の発覚。新聞社、テレビ局の責任のなすり合いなど現代のジャーナリズムのあり方が問われる昨今。石牟礼道子、井上ひさし、久野収、筑紫哲也、本多勝一等の手によつて、現在つくられていく週刊誌とはまったく質の違うクオリティ・マガジン「金曜日」が創刊されることが決まつた。

この雑誌の特徴は、前述したとおり、まず第一に、現在発行されている週刊誌とは、まったく質の違うクオリティ・マガジンであること。第二に、環境問題、人権問題、アジアをはじめ第三世界の声や市民運動を重視。また、メディア批判を重視する。第三に、一切のタブーを排し、戦鬨のジャーナリズムをすすめる。第四に、広告収入に依存しない経営を行うなど。また、購入は原則として郵送による直接購買制とのこと。

創刊に先立ち行われた旗揚げ集會では編集委員の一人、本多勝一氏が「政・官・財・報（道）・労（働）組（合）・知（識）人」の完全な癒着構造の中に取り込ま

## 産業 やばりバブルで泣きました フィットネス産業の生存競争

れたマスコミが、疑獄事件など暴けるはずはない。日本のこんな流れの中で「金曜日」は少しでも逆の方向に進みたい」と1000名の参加者に語りかけたが、その言葉通り、巷で行き交う捏造情報やメディアではなく、この「金曜日」が真のジャーナリズムを創出する週刊誌となることを期待したい。氣になる創刊日の方は、予約が3万5000部に達した時点というところらしいが、どうやら、この秋9月に創刊となる氣配が濃厚。この癒着の時代にあつて、果して「金曜日」がどこまでタブーを破れるか。それとも「金曜日」自体がタブーになるのか!?

バブル全盛時代には、年間1000〜2000カ所のペースで増加施設が続々と開設されたフィットネスクラブ。現在では、その数も全国で1500を超え、過当競争が表面化した地域もでてきたが、さらに、今さらいうまでもない不況の影響で、これまで増加一方だったメンバー数にも伸び悩みがみられるようになった。そんな中、当然閉鎖を決断するクラブも少なくなく、健康の維持増進ニーズをとらえ拡大したフィットネス産業も淘汰の次期を迎え、生き残り策が真剣に案じられている。

その策の一環としてか、昨年7月から厚生大臣指定のフィットネスクラブでの運動が医療費控除の対象になった。つまり、医師の処方箋を持つて認定されたフィットネスクラブなら、利用料金が治療費とみなされ、利用者側からいえば今までは断然、低コストで利

用できるというわけだ。

東京ではさっそく、医療費控除適用のフィットネスクラブが開設され、高血圧や糖尿病など成人病予備軍で運動療法が適切と医師が判断した人に運動プログラムを設定して医師が指導するというシステムを導入。医師の付き添いを要する重症コースとインストラクターなどが付き添い、医師の付き添いが必要な軽症コースとがあり、一回当りの利用料金は3500円から5000円。また、大阪では総合病院に併設されたフィットネスクラブが、通常クラブ会員の利用時間の前の時間帯を利用して成人病コースを実施。料金も一回当たり1000円と格安で利用できる。このような医療費控除のフィットネスクラブの数はまだわずかではあるが、指定の申請を目指して条件整備を進めているクラブも少なくなく、今後さらに増加すると思われる。

今まで、フィットネスに興味はあつてもなかなか踏み込めなかつた人々にとつてはまったくもって嬉しい傾向ではあるが、要はもともとフィットネスクラブの会費が高すぎたのではないかと。そして、その高すぎた理由には、やはり人々の健康増進のためといったながらも、結局は金とヒマのあるバブル人間だけを対象としていたからではないだろうか。そして、バブルが弾け去つた今、同時にバブル人間は消え去り、当然利用メンバーは減り、曲がり角にさしかかつたというところだろう。しかし、この期に及んで、また、単なる運動施設というだけでなく、豪華なクラブハウスで、カラフルなウェアで社交を楽しむことを売り物にする勘違いバブルクラブが誕生しているらしい。物の豊かさより心の豊かさといわれて久

しい。市民はもう、そんな手口にはのらないと思うのだが。

## 社会 殺人に走らせた理由は？ 英国で起きた幼児殺害

日本が「矢ガモ」で大騒ぎしているさなか、海の向こうのイギリスでは、10歳少年が2歳児を誘拐、殺害するという全英を戦慄に陥れる事件がおこった。殺されたのは、ジェームズ・バルガーちゃん(2歳)。リバプール市内のショッピングセンターで、母親が目を離したわずかのスキに少年二人に連れ去られた。その2日後、約5km離れた貨物線の線路のわきで発見されたジェームズちゃんは、体中傷だらけ。頭や額にこぶがあり、何らかの凶器で傷害を加えて殺された後、線路に置かれ、列車にはねられたとのあまりにも無惨な検死結果が発表された。

された少年二人への怒りに激情。少年らが護送される車に向かって、卵や石を投げつけ、6人も逮捕者を出すまでの騒ぎに発展した。

市民の怒りはともかく、気になるのが、この少年らに対する刑罰。英国の法律では、10歳未満の少年については刑事責任を問えないが、10・14歳の場合、「犯罪認識がある」と証明できれば刑事訴追が可能とされている。もともとイギリスの場合は、日本と違い児童観が厳しらしく、かつて1908年には、刑事責任が7歳からとされ、8・9歳の子供がただの窃盗で絞首刑になったこともあるほどだという。また、10数年前、14歳と12歳の女の子が10歳の男の子を殺害するという事件が起きたが、この時は主犯の12歳の女の子が終身刑になっていた。となれば、この少年らに厳しい判決がくだされることはまちがいないだろう。

裁判の影響を考え、現段階では事件の詳細、動機はなお公表されていないが、殺害されたジェームズちゃんの年

齢、そして誘拐されるまで少年らとは無関係にあったことから、殺意を抱かせるほどの動機たるものはわずかと見つかからない。ただ、この逮捕された少年らが市内の貧困街で生まれ育ったというのを聞けば、何らかの形でその生活環境がこの事件へ黒い影を落としていたとは考えられないか。少年らのすんだ心が殺害への唯一の動機といえるのではないだろうか。

## 政治 日・韓・朝新時代の幕開けと なるか。韓国新大統領誕生

去る2月25日、韓国で盧泰愚大統領に変わり、金泳三新大統領が誕生した。この金新大統領の就任は35年間続いた軍人大統領支配から文民大統領へと変わるもので、今後、韓国がどのように変化していくのかに多大な関心が寄せられている。

就任式には、催圭夏、盧泰愚ら元、前大統領数人が列席。これまで、韓国

歴代政権は常に前政権を否定するといふものであっただけに、この元、前大統領が姿を現したことは参列者を驚かせると同時に「韓国の新たな幕開け」を印象づけた。

「勤労意欲を喪失し、過剰な消費と集団の利己主義がふくれあがり、カネ万能主義の「韓国病」を治さなければならぬ。そのためには、不正・腐敗を正して、拝金主義の歪みをなくすことだ」と大統領就任前に決意を述べた通り、就任演説でも、経済再建などで、あえて国民に「汗と忍耐」を呼びかけた金大統領。幸先のいいスタートをきり、前途洋々といった様子だが、やはり、問題は多い。

南北統一に軍縮、対日問題など一朝一夕では解決しない課題が待ち受けることはもちろん、それ以外にも金大統領が常々から口にする「権力主義は反対だが、権威あるべき所にはなければならない」といういわば「強力な政府づくり」を早くも独断先行と懸念する声ももっている。

例えば、昨年末の大統領選で金大統領を非難した国民党鄭周永前代表を政界引退にまで追い込んだのははじめ、相手を徹底的においつめるやり方は、よくいえば強力な指導力、悪くいえば独裁型という見方もされている。とはいえ、今の段階では国民はその強行さにも寛容。絶対的な支持率を保っている。とにかく、この金新大統領。内外を含めこれまでのどの大統領よりも期待が大きい。裏を返せば、その強行さも大きな期待に応えようという思いゆえかも知れない。しかし、この新大統領誕生により、日本ものんびりとは構えて

いられない。今のところは、良きパートナーとして盧政権の対日政策を継承するということが、この調子ではかなり日本に対しても厳しくでてるはず。しかし、この厳しさが水に流せない両者の不幸な過去をキレイに精算するチャンスともいえるのではないだろうか。金大統領の誕生により、日・韓・朝として北朝鮮、三者に新しい歴史が生まれることを期待したい。

# 京都で遊ぶ。映画と遊ぶ。

映画・テレビでおなじみの

江戸の町並や明治の通り

最新の映像技術を駆使した映像実験館

見て、歩いて、遊んで楽しい映画村は  
生きた撮影所の魅力がいっぱい！



ミス映画村 武田京子

観る・学ぶ・遊ぶ・創る  
映像の世界は、面白びつくり。

# 映画村

京都市右京区太秦東蜂ヶ岡町10  
☎(075)864-7716